

『2型糖尿病における細小血管治療を意識した
フィブラートの処方意義』

2型糖尿病では動脈硬化惹起性が強いリポ蛋白を是正するためにも高TG血症は重要な治療ターゲットであり、心血管イベントの抑制のみならず細小血管障害を軽減するフェノフィブラートは2型糖尿病での脂質改善の基本薬となる。

第53回日本糖尿病学会年次学術集会
ランチョンセミナー33

日時 ■ 2010年5月28日(金)
12:10~13:00

会場 ■ ラヴィール岡山 第16会場
(5F シャンティの間)
〒700-0024 岡山市北区駅元町1-10

**2型糖尿病における
細小血管治療も意識した
フィズラートの処方意義**

小川 久雄 先生 | **座長**
熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器病態学 教授

中村 直登 先生 | **演者**
京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 教授

共催 ■ 第53回日本糖尿病学会年次学術集会 / 帝人ファーマ株式会社